



“^{ミカド}天皇”とその時代、そして文芸を考える！ <part III>

～ 歴史と文化を知れば見えてくる“京都の魅力再発見”～

主催：京都商工会議所 協力：京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス

これまで 12 人の天皇についてお話してきました。それぞれの動乱そして激動あるいは天変地異のなか、“ミカド”はいかに生きてきたのか。そこにはつきない物語がありました。そこでまだお話していない 6 人の“ミカド”について、2016 年の講座はスタートしたいと思っています。政治の動き、産業商業の発展、そして文化の光も、多くは京都から発せられ、その揺籃をへて日本の伝統美が育まれてきました。そのなかで“ミカド”とはどんな存在だったのか。深い想いと思いがけない“ミカド”の姿を映し出して、この国の文化や伝統を考えます。今回で“天皇”とその時代の最終講となります。

回次	開催日	テーマ	講座のポイント
1	4月9日 (土)	桓武天皇とその時代 国づくりとは何か？ “軍事と造作”への執心	朝鮮からの渡来人を母にもち、新都造営に賭けた桓武天皇。新たな国づくりに着手しようとした天皇の本意とは何か？ 意気軒昂な桓武の想いをお話します。
2	5月14日 (土)	後三条天皇とその時代 天皇親政とは何か？ 「記録荘園券契所」と「宣旨栞」への執心	藤原摂関家の圧迫に後三条天皇はどう対峙したのか。天皇とは虚器にあらずの想い。わずか 4 年でのなしとげようとした政治改革とは？ 天皇の意味についてお話します。
3	6月4日 (土)	花園天皇とその時代 “王道”とは “学問・芸能” にあり！ なぜ尊治親王に譲位したのか？	学問・芸能に秀でる意味。花園天皇は天皇の意味を深く心に秘めて後醍醐天皇への譲位を決断しました。持明院と大覚寺でゆれるなか、花園はなにを考えたのか？
4	7月2日 (土)	後小松天皇とその時代 足利義満の傀儡？ 南北朝合一という談合	皇位篡奪を目論んだ足利義満は「日本国王」を号し、後小松天皇はそのなかでなにを思ったのか。後小松はたんなる傀儡なのか？ 南北朝合一のドラマを考えます。
5	8月6日 (土)	後桜町天皇とその時代 “女帝”として、“中天皇”として生きる。 皇統を守る意味とは？	女帝とはどんな存在だったのか？ 推古からはじまる女帝の系譜は後桜町を最後にして絶えて久しくなります。女帝とはたんに皇統のつなぎだったのか。女帝の謎に迫ります。
6	9月3日 (土)	大正天皇とその時代 明治大帝の圧迫、朝鮮への想いとは？	虚弱、脳症など大正天皇のお話は長い間、はばかれるものでした。はたして大正天皇とは、どんな想いをもっていたのでしょうか。天皇の朝鮮への追憶とともに考えます。

※内容は変更になる可能性があります。

【時間】 各回 15:30～17:30

【受講料】 各回 2,000円 (レジュメ含む)

※ 全6回一括お申込みに限り、**お一人9,600円** (2割引) の特別価格となります。

【定員】 各回 150名 (定員になり次第締め切ります)

【会場】 ①(第1・3回) 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス
(東京都港区北青山1-7-15) JR総武線「信濃町」徒歩5分
東京メトロ半蔵門線・銀座線「青山一丁目」、都営地下鉄大江戸線「青山一丁目」徒歩10分
②(第2・4・5・6回) TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
(東京都新宿区市谷八幡町8) JR総武線「市ヶ谷」より徒歩3分、東京メトロ南北線・有楽町線「市ヶ谷」より徒歩5分、都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」より徒歩5分

【講師】 八柏 龍紀 (やがしわ・たつり) 氏

秋田県生まれ。慶應義塾大学法学部・文学部卒。秋田県立高等学校教員を経て上京。その後、大手予備校日本史講師を務める一方で執筆活動を展開。2000年から東京大学駒場キャンパスで自主講座を開講。2010年は非常勤で自由ゼミを担当するなど講座・講演多数。現在、淑徳大学エクステンションセンター講師。著書には『セピアの時代』(大和書房)、『日本の歴史ニュースが面白いほどわかる本』(中経出版)、『「感動」禁止』(ベスト新書)などがある。



【お申込み方法】

- ①受講料を下記振込口座にお振込み下さい。(振込手数料はご負担下さい)
- ②「受講申込書」に必要事項をご記入の上、「受講申込書」と「振込金領収証のコピー」を一緒に、郵送もしくはFAXで下記申込先までお送り下さい。

受講料振込口座 京都銀行 本店営業部 普通預金 4085210「京都商工会議所」

【注意事項】

- (1) 受講申込書のご提出と受講料のお振込みをもってお申込み完了となります。
「受講証」は開講日1週間前を目処にお送り致します。
- (2) 既に納入いただきました受講料は、定員を超えてご参加いただけない場合や講演会中止のほかは、返金致しかねますので予めご了承ください。
- (3) 原則として本講演会のキャンセル・日程変更は受け付けておりません。
代理受講は可能です。ご欠席の場合は資料を後日送付致します。
- (4) 都合により、会場、日程、タイトルの変更がある場合がございます。

【お申込み・お問い合わせ先】京都商工会議所 会員部 京都検定講演会係

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル [地下鉄烏丸線「丸太町」6番出口スグ]

TEL 075-212-6416 FAX 075-222-2612 e-mail:school@kyo.or.jp

http://www.kyotokentei.ne.jp/

-----切-----り-----取-----り-----線-----

FAX: 075-222-2612

平成28年度 京都検定講演会[東京開催]

『天皇とその時代、そして文芸を考える！<partIII>』受講申込書 @2,000.-

[氏名]	ふりがな	[受講料振込]
	漢字	
		銀行/信金 支店より (月 日 _____ 円 振込完了)
[希望講座] ご希望コースの□欄にチェックし、合計金額をご記入ください		
<input type="checkbox"/> Gシリーズ1 (4 / 9) 桓武天皇とその時代		
<input type="checkbox"/> Gシリーズ2 (5 / 14) 後三条天皇とその時代		
<input type="checkbox"/> Gシリーズ3 (6 / 4) 花園天皇とその時代		
<input type="checkbox"/> Gシリーズ4 (7 / 2) 後小松天皇とその時代		
<input type="checkbox"/> Gシリーズ5 (8 / 6) 後桜町天皇とその時代		
<input type="checkbox"/> Gシリーズ6 (9 / 3) 大正天皇とその時代		
◆1回毎のお申込み お一人様 2,000円 ◆全6回一括お申込み お一人様 9,600円(2割引)		
<input type="checkbox"/> 2,000円×計 _____ 回受講 合計金額 _____ 円		
<input type="checkbox"/> 全6回一括お申込み 合計金額 _____ 円		
既納の受講料に関しては返金致しませんのでご了承ください。		
[現住所(お住まい)] 〒 _____		
TEL _____		FAX _____
[緊急連絡先] (臨時休講・会場変更など緊急の場合、昼間にご連絡致します)		
TEL _____		_____
※上記電話は、 <input type="checkbox"/> 自宅(携帯電話などを含む) / <input type="checkbox"/> 勤務先 です。		

※本申込書にご記入頂いた個人情報は京都商工会議所の検定、講座実施に必要な業務、各種情報提供の目的にのみ利用します。